

2022年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の1枚) 配点 25点	採 点
----------	---------------------	-----------------	--------

問1-1 図1~3の寺名と建物名を連記で解答欄に記しなさい。また、図1~3の建物の完成年の早い順に図の番号を解答欄に記しなさい。(5点)

図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3
----------	----------	----------

解答欄	寺名 建物名 Temple Name - Building Name	完成年の早い順 Order of the completion year using figure number (starting with the earliest)	
	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3
			⇒ ⇒

問1-2 図1~4の建物名および図1と図3を設計した建築家名を解答欄に記しなさい。また、図1~4の建物の完成年の早い順に図の番号を解答欄に記しなさい。(8点)

解答欄	建物名 Building Name	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4	完成年の早い順 Order of the completion year using figure number (starting with the earliest)
		建築家名 Name of Architect				
						⇒ ⇒ ⇒

問1-3 図1~5が示す建築作品名および設計した建築家名を解答欄に記しなさい。また、図1~5が示す建築作品の完成年の早い順に図の番号を解答欄に記しなさい。(12点)

図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4	図5 Fig.5
----------	----------	----------	----------	----------

解答欄	建築作品名 Name of Work	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4	図5 Fig.5
	建築家名 Name of Architect					
	完成年の早い順 Order of the completion year using figure number (starting with the earliest)	5 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒				

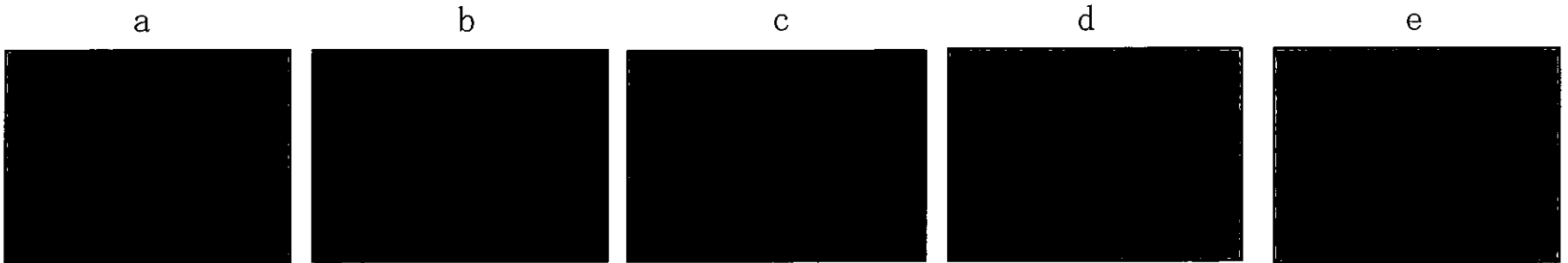
2022年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

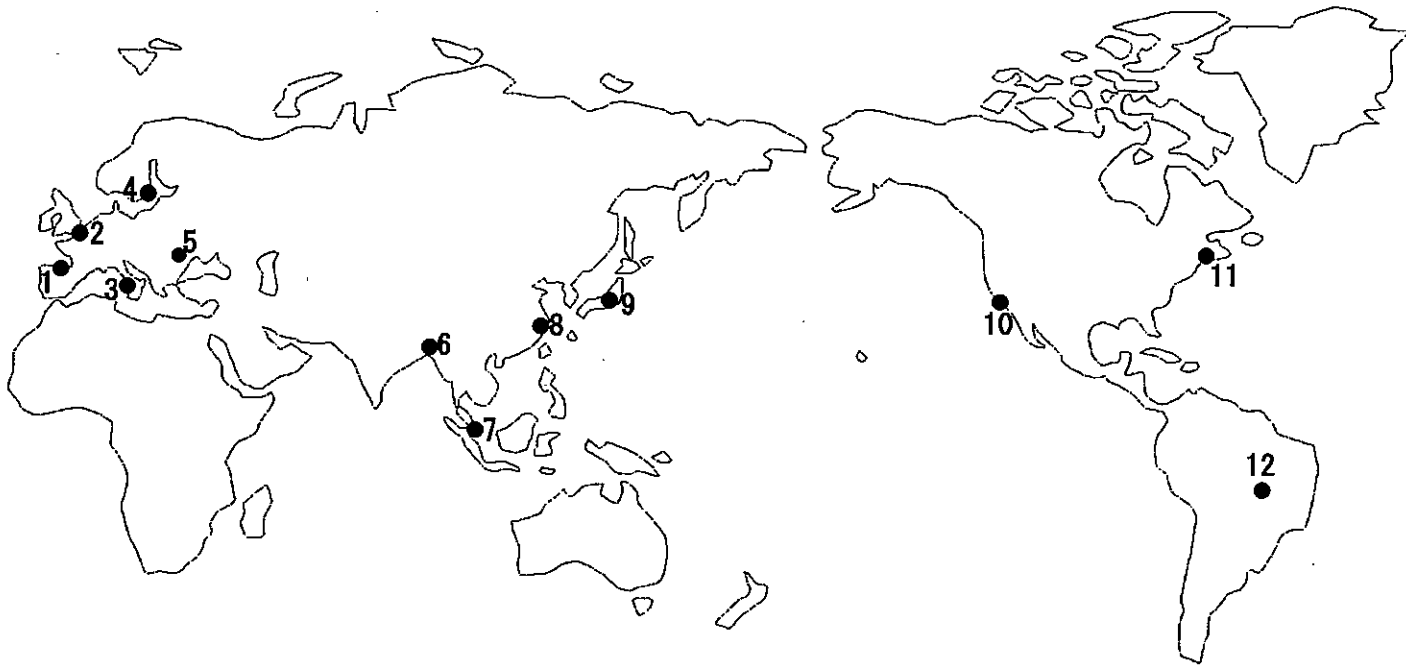
専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の2枚) 配点 25点	採点	
----------	---------------------	-----------------	----	--

問2 現代の建築作品a~eに関する下記の問いに答えなさい。



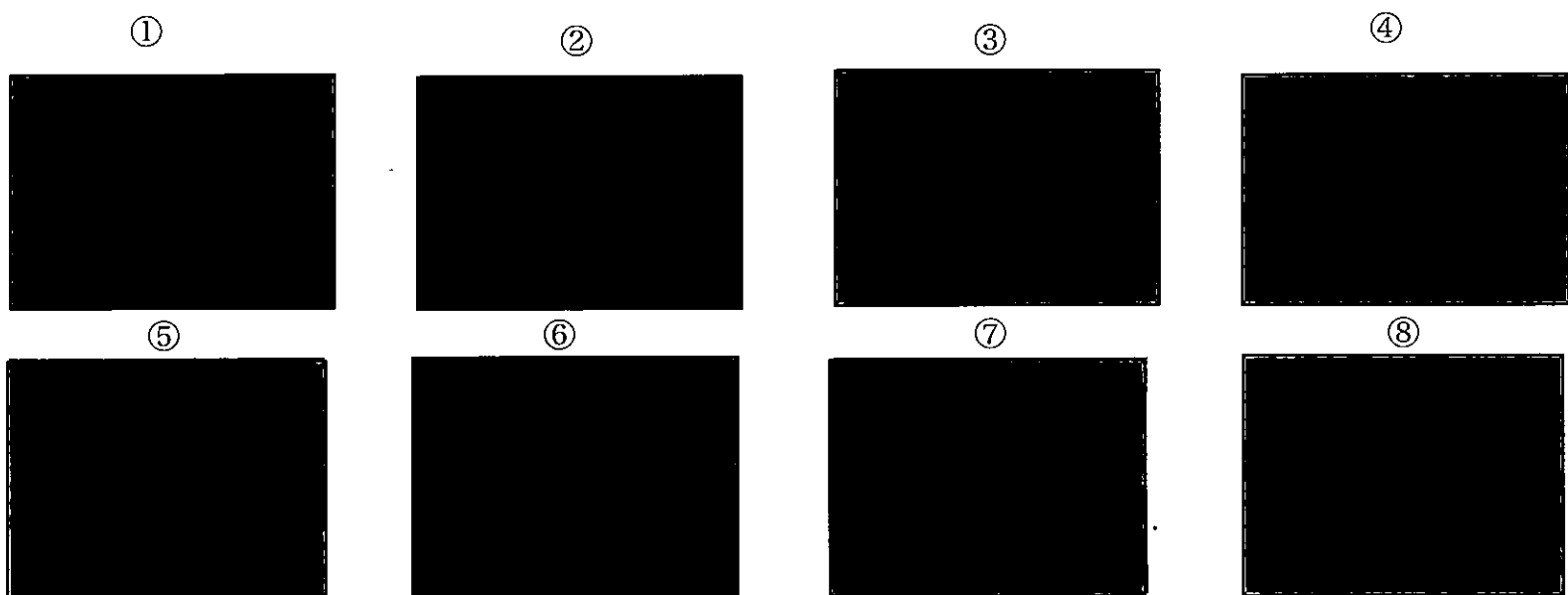
問2-1 建築作品a~eが位置している場所を以下の地図上の番号1~12から選び、解答欄に番号で記入しなさい。(10点)

a 解答欄 b 解答欄 c 解答欄 d 解答欄 e 解答欄



問2-2 建築作品a~eを設計した建築家による別の作品を以下の写真①~⑧の中から選び解答欄に記号で記入しなさい。(10点)

a 解答欄 b 解答欄 c 解答欄 d 解答欄 e 解答欄



問2-3 建築作品a~eを設計した建築家名を解答欄に記入しなさい。(5点)

a 解答欄 b 解答欄 c 解答欄 d 解答欄 e 解答欄

2022年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号	
------	--

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の 3枚) 配点 25点	採 点	
----------	---------------------	-------------------	--------	--

問3-1 建築計画・防災計画・住居計画に関連する①～⑩にあてはまる最も適切な語句を語群から選び、その記号(a.～x.)を解答欄に記入しなさい。(20点)

- (1) 1945年の今和次郎「住生活」、1947年の西山卯三「これからのすまい—住様式の話—」、1949年の浜口ミホ「日本住宅の封建制」、1954年の(①)「すまい」など、第二次世界大戦後すぐの時期に、日本の現在の住居計画の原点となる著作が相次いで刊行され、食寝分離、就寝分離、(②)、(③)、機能分化といった住居計画の原則が示されている。
- (2) 鈴木成文(1927～2010)らは、(④)の「イメージマップ」の方法を集合住宅地に用いて、物的環境条件の影響がある下で居住者の行動と認知によって心の中に「みずからの空間の範囲」が形成されることを把握し、この「みずからの空間の範囲」を(⑤)と名づけ、住宅地計画における(⑤)の重要性を指摘した。
- (3) 車いす利用者が用いるスロープの勾配の基準は、一般的には(⑥)以下が目安となっているが、高齢者や体の不自由な人が独力でこの勾配を上がるのは困難で、自由な移動ができるためには、(⑦)以下が必要である。
- (4) 歩行する人同士がすれ違いやすくするとともに、人と車いす利用者がすれ違えるようにするには、廊下の幅は(⑧)cm以上とする。また、車いす利用者同士が車いすを利用した状況ですれ違いやすくするには、廊下の幅を(⑨)cm以上とする。
- (5) 幅員が6mの廊下に面した避難扉幅2mの出口が3か所ある大教室内に学生が300人在室していた時、1か所の出口付近で火災が発生したとしてその他の出口からの避難について流動係数(1.5人/m・秒、単位時間に単位幅員を通過する人数)を用いた計算式で計算すると、出口の滞留解消の時間は(⑩)秒となる。

語群

- a. 私室の確立 b. 開放性 c. 支え合い d. 和洋折衷 e. 家族本位 f. 家事労働の軽減 g. 生活領域 h. 原風景 i. コリピング
j. 池辺陽 k. 吉武泰水 l. 藤井厚二 m. ケヴィン・リンチ n. クリストファー・アレグザンダー o. アレクサンダー・クライン
p. 1/6 q. 1/8 r. 1/12 s. 1/20 t. 50 u. 80 v. 100 w. 150 x. 180

解答欄	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

問3-2 火災時の建築物避難計画は、フェイルセーフの原則とフルプルーフの原則に従う必要がある。選択肢より、火災時の建築物避難計画においてフェイルセーフの原則に従い考慮すべき点として最も合致する記述を選び、その記号(a.～f.)を解答欄に記入しなさい。(5点)

解答欄	
-----	--

選択肢

- a. 扉を避難方向に開くようにする。
- b. 明快な避難経路を設定する。
- c. 階段を2か所以上配置する。
- d. 階段の位置をわかりやすくする。
- e. 経路に迷う位置に誘導灯を設置する。
- f. 避難経路を日常動線とかかわるように設定する。

2022年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の 4枚) 配点 25点	採 点
----------	---------------------	-------------------	--------

問4-1 下記の文章の①から⑧にあてはまる最も適切な用語を解答欄に記入しなさい。(16点)

- 近代の都市計画では、多様な理想都市モデルが提案されてきた。T. ガルニエによる「①」は、住居地域を緑地帯によって工業地域から分離させたものであり、生活と労働の両面に対応した近代性を備える都市の提案である。20世紀の初頭には、E. ハワードの田園都市論がレッチワースやハムステッド田園郊外で実現した。その設計者は「②」で、その後のニュータウンの住宅地計画の設計技法に大きな影響を与えた。日本における戦後の首都東京の都市設計の提案としては、丹下健三研究室による「③」がある。それは、求心・放射型の都市構造の閉鎖性を否定し、都市軸の概念を導入することによって開放的な線形発展を可能にするという提案であった。
- 近年、市街地の無秩序な拡大を抑制しながら、都市地域の環境整備に重点を置き、環境的・経済的持続性を高める都市モデルとして「④」が提唱されている。④と類似する概念として、アメリカでは1980年代にニューアーバニズムが提唱され、イギリスでは1990年代にチャールズ皇太子によって「⑤」が提唱されている。
- ④と関連して、都市内の交通渋滞の緩和や環境問題の解消を図るうえで有効な公共交通機関として、欧米を中心に導入されている低床式車両(LRV)や、軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システムである「⑥」(略語でも可)の導入が進められている。日本では、2002年に施行された都市再生特別措置法に基づいて「⑦」が策定されている。ここでは、医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能を誘導する都市機能誘導区域や、「⑧」等の区域設定を行うことによって、都市再生を図ろうとしている。

解答欄

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

問4-2 下の図Aは、日本の住宅の発展図式のモデル図である。このモデル図は誰が作成したか、その人名を①に書き、また、この図の特徴を②の解答欄に200字程度で説明しなさい。(9点)

解答欄

<p>図A 出典 「日本のすまい I」1975より</p>	①
	②